平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	5 － 11

1　事務事業の表示

※　■　：　該当

事務事業名	札幌医科大学地域密着型チーム医療実習支援					
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		保健係
	管理職	職名	保健福祉課長	作成者	職名	保健係長
		氏名	淡路至尊		氏名	佐々木希美枝
事業の概要	札幌医科大学医学部･保健医療学部の学生が地域の保健･医療･福祉の実際を見学実習することで、地域住民の生活や専門職間の連携を学び、地域医療への関心を深めることを目的に、西紋5市町村内の医療･福祉施設、保健部門等で行う地域実習経費を負担する。			全体計画（平成 20 年度～ 22 年度）		
				事業費	国･道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	789 千円
					事業費計	789 千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他（　　）	
第 5 期 総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	2	ぬくもり･雄武～保健･医療･福祉の充実～			
	基本施策	6	保健･医療の充実			
	単位施策	5	地域医療体制維持の確立			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画･根拠等					

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
	国･道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	176 千円	125 千円	102 千円	千円	千円
	合計	176 千円	125 千円	102 千円	千円	千円

2　事務事業の目的･内容（Plan･Do）

【誰、何が（対象）】	札幌医科大学医学部･保健医療学部の学生	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	地域医療･チーム医療について学ぶ	地域密着型チーム医療実習の実施		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	地域医療の課題やチーム医療の重要性を学ぶことにより、地域医療に対する関心が深まる	① 実習機会の提供	目標年度	22年度
			目標値	1 回
			実績値	1 回
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	地域医療の担い手が増える	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
学生実習機会の提供	西紋5市町村、札幌医科大学との連携により、5月に1日間5名の学生実習の受入れを行った。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

概ね必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	将来の地域医療を担う人材育成を目的に西紋5市町村の共同事業として平成20年度から3カ年計画で実施した。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

概ね有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	直接的な医療従事者確保には至らないが、長期的な視点で、本町の知名度の向上や将来的な地域医療従事者の育成に関しては有効であると考える。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	必要経費の内訳が明確であり、効率的に事業を実施することができた。

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 ■受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	札幌医科大学及び実習生自身の負担もあり概ね公平と考える。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
西紋5市町村の連携のもと、計画通り事業を実施することができた。		

今後の展開方向
（Action）

終了		
平成22年度で3カ年の事業を終了する。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）